



いいかも

弥生三月、気持ちが沸き立つ春。少しの寂しさと大きな期待を胸に、新たなチャレンジを始めます。

可茂県事務所 振興防災課
家庭教育推進専門職 安田 早由里
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL : 0574-25-3111 内線 208
FAX : 0574-25-3934
令和6年度 3月号 No. 1 2

可茂地区トレジャーワード

育もう豊かな感性 ～泣いて、笑って、ともに歩もう～

美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町



「いいかも」
こちらから

桜の花が、可愛らしい蕾を膨らませています。再び春が巡ってきたことに喜びと感慨を覚えます。令和6年度家庭教育学級の運営に携わってくださった全ての皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。3月末をもって役員という荷は下ろされますが、今後とも、本活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度に向けて、大きな期待と少しばかりの不安をおもちの新役員の皆様、園・学校の先生方や各市町村の担当者と力を合わせ、来年度の家庭教育学級を充実させて参りましょう。まずは、年間計画の作成をどうぞよろしくお願いいたします。下の1・2に参考資料を掲載します。ご活用ください。

1 「みんなで家庭教育」 YouTube 期間限定公開

家庭教育学級年間計画の立て方について10分程度で説明しています。※3月中旬～5月中旬公開

https://www.youtube.com/watch?v=QnUVK9FEC_Q



2 家庭教育学級実践例の紹介

過去、何年かにわたって実施された「家庭教育学級」や「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の実践事例が、掲載してあります

「岐阜県庁公式ホームページ」

「可茂県事務所公式ホームページ」

岐阜県 家庭教育
県内6地区の実践例



通信「いいかも」
可茂地区の実践例



3 令和7年度家庭教育学級リーダー研修会のお知らせ（オンライン開催）

保護者及び園・学校職員・市町村担当者がオンラインでつながります。

幼稚園・保育園・こども園対象 家庭教育学級リーダー研修会

令和7年 5月 8日（木） 10:00～11:30（予定）

小・中学校対象 家庭教育学級リーダー研修会

令和7年 5月14日（水） 14:00～15:45（予定）

家庭教育学級について、県の方針説明を受けるとともに、活動について情報共有します。毎年、役員さん、園・学校担当者の参加をお願いしています。

～3月号では、6つの実践例を掲載します。～ 次頁より（P2～7）

可茂地区内の乳幼児・小中学校の実践、企業内家庭教育研修の実践を紹介します。どの学級もとても充実しています。一年間、本当にお疲れ様でした。

講演会型 + 体験活動参加型

No.31

可児市立蘇南中学校 家庭教育学級



「簡単味噌作り講座」

学級の目的

家庭での食事作りは、主に母親が担っているところが多いと思います。近年、発酵食品の魅力が、様々なところで取り上げられています。味噌は、日常の食事作りにおいて家庭でよく利用する発酵食品の一つです。子どもや家族の健康の保持・増進のために、私たちと一緒に、味噌作りを体験しませんか。きっとそのおいしさに驚かれることと思います。

日 時：R7.1. 29（水） 10時～13時 場 所：可児市福祉センター・調理室
参加者：保護者16名 市担当者1名



に わ あきこ
講師：丹羽 聡子氏（元 可茂地区栄養教諭）

自称「味噌伝道師」の先生は、「体によい発酵食品の魅力を多くの人に伝えたい、興味をもってもらえればうれしい。」そんな願いをもって、様々な講座でこだわり味噌を広めておられます。

1 容器に生麹を入れてよくほぐす。



4 つぶした大豆と花麹をよく混ぜて、テニスボール位の味噌玉にする。



栄養講話



2 塩を入れて、麹によくまぶす。



できた麹は、花麹と言う。

5 容器に味噌玉をたたきつけるように全部入れて、表面を平らにする。



家に持ち帰り、ビニール袋を2重にした塩の重しを乗せ、蓋をして新聞で覆い日のあたらない湿気の少ない場所で保管します。
8ヶ月後には、自然な優しい味わいのこうじ味噌に仕上がります。

3 大豆をつぶして大きいボール等に入れる。



6 手袋を外し、アルコールを含ませたペーパーで、容器のふちや回りをきれいにふき取る。



7 味噌の表面に、空気が入らないようにラップをピタッと貼る。



使う材料

- ・水煮大豆（岐阜県産フクユタカ）…（約700g）
- ・生米麹 … 1升×1/4（375g）
- ・塩（あら塩） …（150g）

甘いね！



おいしい！

「皆さん、手作り味噌、是非食べてみてください。おいしいですよ。」
実習の後は、先生が差し入れてくださった味噌を試食させていただきました。その後、栄養講話もあり、楽しく充実した学級となりました。

在宅取組型

No.32

川辺町立川辺東小学校 家庭教育学級



「ふゆやすみはみがきカレンダー」

学級の目的

生活リズムが乱れがちになる冬休みに取り組むことで、通常日には比較的習慣化している歯みがきを続けたい。歯を大切にという姿勢が崩れないよう、取組を通して意識をもたせたい。

取組期間：R6. 12. 27 ～ R7.1. 6 *朝・夜の歯磨きをチェックします。

対象：全校児童と保護者

*「ふゆやすみはみがきカレンダー」を使って、親子で毎日確認し合ひましょう。
(子育て委員会 役員さん手作りのカレンダーです。)

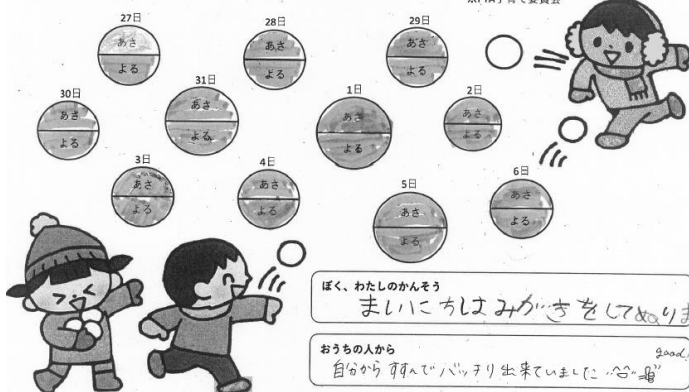
R6

ふゆやすみ はみがきカレンダー

☆あさとはみがきできたいろをぬりましょう☆

1年 名前 女子

※PTA子育て委員会

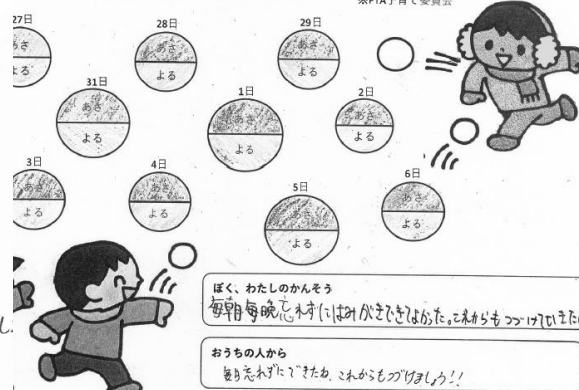


すみ はみがきカレンダー

☆あさとはみがきできたいろをぬりましょう☆

6年 名前 女子

※PTA子育て委員会



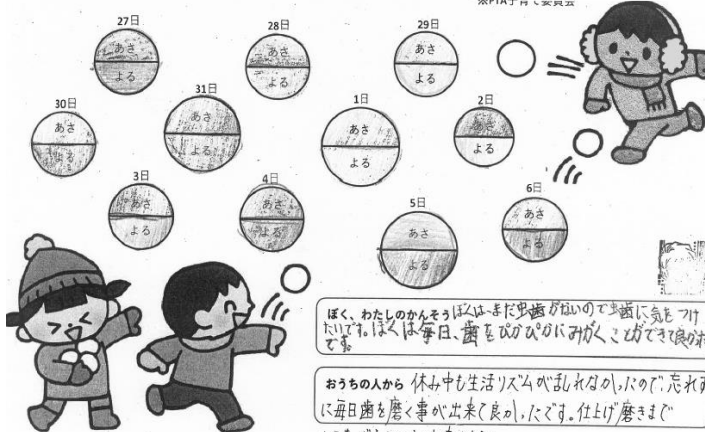
R6

ふゆやすみ はみがきカレンダー

☆あさとはみがきできたいろをぬりましょう☆

3年 男子

※PTA子育て委員会



子育て委員会より

川辺東小学校 子育て委員会 令和6年10月号

委員の皆さん手作りの通信発行

～子育て委員会による読み



1年生 『はのいたい モモちゃん』

<子どもたちの感想>

- 歯みがきをしていて良かった。
- これからは、歯みがきをしつかりやろう。
- 歯みがきが大切だということを知ることができた。
- 歯みがきをしたことがあった。

夏休みはみがきカレンダーの結果

	毎日磨けた	朝夜磨けなかった日あり	磨けなかった日あり
1年生	29人	3人	2人
2年生	15人	2人	6人
3年生	17人	0人	4人
4年生	17人	0人	9人
5年生	17人	5人	12人
6年生	17人	0人	4人

- ★1年生感想★
・歯磨きをするのが楽しかった。
・毎日歯磨きした。
・自分から進んで磨けた。
- ★2年生感想★
・歯磨きをするのが楽しかった。
・毎日歯磨きした。
・自分から進んで磨けた。
- ★3年生感想★
・歯磨きをするのが楽しかった。
・毎日歯磨きした。
・自分から進んで磨けた。
- ★4年生感想★
・歯磨きをするのが楽しかった。
・毎日歯磨きした。
・自分から進んで磨けた。
- ★5年生感想★
・歯磨きをするのが楽しかった。
・毎日歯磨きした。
・自分から進んで磨けた。
- ★6年生感想★
・歯磨きをするのが楽しかった。
・毎日歯磨きした。
・自分から進んで磨けた。

- 【おうちのから】
・歯磨きをするのが楽しかった。
・毎日歯磨きした。
・自分から進んで磨けた。
・歯磨きをするのが楽しかった。
・毎日歯磨きした。
・自分から進んで磨けた。

2年生女子とお母さん <ぼく、わたしのかんそう>

○毎日歯を磨けてよかったです。これからも虫歯にならないように、毎日磨きます。

☆冬休み、楽しめたかな?朝夜、きちんと歯みがきが出来ていたと思います。昼もやれたかな?休みが終わっても続けようね。

4年生男子とお母さん <ぼく、わたしのかんそう>

○はみがきカレンダーがあったおかげで、毎日歯をきれいに磨けました。

☆休みでも、しっかり磨くことができたのでよかったです!!

歯みがきの取組状況をまとめ皆さんの声を掲載します。次は、来年度の夏休みを実施する予定です



川辺東小は、歯を大切にする学校です。PTAでもそれを受け、長期休業日(夏・冬)に、歯みがきカレンダーを継続しています。



体験活動参加型

No.33

七宗町 乳幼児期家庭教育学級

「節分会の集い」～季節の行事を楽しもう～

学級の目的

自分達の住んでいる町に昔から伝わっている節分の行事の意味を知り、体験することで楽しさを味わい、ふるさとを愛する気持ちを育む。先人の教えをこれからも大切にしようという気持ちを皆で共有する。

日時：R7. 1. 31 (金) 10時～11時半
場所：神淵コミュニティセンター
対象：七宗町乳幼児（0～3歳児） ※上麻生・神淵の合同学級
参加者：親子8組 子育て支援センター職員2名 町担当者1名



1 ステージ前に集合 今日の活動の確認
支援センターの職員から、節分に関わるお話がありました。

「節分の日、家の玄関に置く短冊と鬼のお面を作りますよ。」「鬼の顔に色を塗ったら下に点を13書きます。」鬼がやって来て「あれ、この13個の点は何だ?」と思っているうちに、豆を投げて鬼を退治するんですよ。」
「なるほど!」お母さん達の反応が初々しい!



七宗町の乳幼児学級は、町内2地区（上麻生と神淵）が合同で実施しています。上麻生から2名、神淵から1名、計3名の役員さんが活動をリードしておられます。

2 ダンス「鬼のパンツ」
読み聞かせ「おにはそと」
子ども達が、絵本の前に集まります。支援センターの先生が読んでくださる絵本に注目します。



*家にも何もすることがないので…。来ればみんなに会えるから乳幼児学級は、本当に楽しい!
*「うちの子、もう14cmの上靴はかないから、よかったらあげるよ、使ってよ。」
「えっいいの?」
こんなやりとりが聞こえてきました…。

3 ゲーム「追いかけて豆入れ」
「オニオニバスケット」
広い体育館を目いっぱい使い、皆で身体を動かします。鬼役のお母さん達を、子ども達が一生懸命追いかけます。



4 ダンス「赤鬼と青鬼のタンゴ」
立ったり、座ったり、抱っこしたりと、各々のスタイルで踊ります。



5 プレゼント
この日、子ども達は、乳幼児学級からと福の神からと二つのプレゼントをもらいました。



節分の行事は、どの地域も全て同じではありません。住んでいる場所ごとに、家ごとに、少しずつ違います。今回は、七宗町の乳幼児学級で行ったものを紹介しました。このような季節の行事を伝えていくことも学級の大切な役割なのですね。皆さんのところは、どんなふうでしょう?



「遊びを通して情報モラルを学ぶ」
「サロン会～最近の子ども様子について～」「閉級式」
年間活動目標 **大人も学び、子どもの成長につなげよう**

日時：R7. 2. 19 (水) 10時15分～12時55分
場所：御嵩小学校 調理室
参加者：保護者(12名) 学校担当者1名



本日の家庭教育学級(次第)
10:15～ 情報モラル講話
情報セキュリティすごろく
11:45～ 休憩 あゆみ館 パン販売
昼食
12:15～ 閉級式 サロン会
12:55～ 会場から授業参観へ・移動
※あゆみ館は、御嵩町内にある、障がい福祉サービス事業所です。活動の一環に、パンやお菓子の販売をしております。本日、昼食時に、来ていただき、学級生に利用してもらいました。



副委員長さんの司会、委員長さんのあいさつで、本日の会が始まりました。

講師：岐阜県生活環境私学振興・青少年課青少年係より
課長補佐さんお二人をお迎えしました。前半に講話を、後半に情報セキュリティすごろくを行いました。

前半：情報モラル講話

後半：情報セキュリティすごろく



遊びながら、考えよう！

良い判断、やってはいけないこと

- ・情報が本当かウソかを見極める！
- ・ながらスマホの難しさを体験！
- ・情報モラルクイズに挑戦！
- ・止まったマスやクイズでは声を出して読み上げよう！

- 本日のテーマ
- 1 情報通信メディアの現状
 - 2 SNSの利用状況
 - 3 通信型ゲーム機の利用状況
 - 4 各種トラブル事例
 - 5 まとめ、対策

子ども達に、情報機器に潜む危険性を伝えることは大切。ルールを決めたことで安心しないで。決して母親一人で抱え込むことではない。是非、多くの方に伝え、話題にしてほしい。



情報モラルの学習に参加して

閉級式・サロン会

- ・今まさに、スマホデビューしようとしている私たち親子にうってつけの勉強会でした。親子で話し合いながら、お互い納得した約束を作りたいです。
- ・息子(小4)には、小1の頃からスマホを持たせています。契約時にインターネットが使えないようになっていて不便だと思いましたが、結果よかったです。
- ・最初は、難しいテーマでどうかと思ったけれど、すごろくや資料を使ったお話が聞けて、とてもよかったと思いました。すごろくはゲーム感覚でできたので、子ども達も声に出して意識してくれるといいなと思いました。
- ・メディアには危険が伴うことがよくわかりました。

- サロン会では、次のような話題で盛り上がりました！
- ・各家庭、インターネットやゲーム利用にルールはあるか？→ある 年齢に応じて見直す必要性を感じた。
 - ・スマホ、ゲーム、パソコンは、小さいうちから触れていた方が執着がないのでは。キャンプや、スポーツ等夢中になれるものが他にあったことが執着につながらなかったのかもしれない。
 - ・子育てについて、子どもの姿を振り返り、失敗させることは必要だと感じた。いつも先回りして答えを教えることは、自分で考えることや自立を妨げてしまう。一緒に問題について話し合う中で、「どうしたらいいと思う？」と問いかけ、考えさせることが大切。等々

御嵩小は、PTAの学習委員会が家庭教育学級の運営を担当し、正・副の委員長さんが年間計画の立案や運営をリードしておられます。まとまりのある活力溢れる学級を運営しておられます。

企業内家庭教育研修

No.36

東和組立株式会社 様



「職場に活気をもたらすコミュニケーション」

～仲間との良好な関係を築くための伝え方・関わり方～

職場における良好な人間関係は、社員が気持ちよく仕事を行うための大切なものです。ストレスの軽減は、仕事の効率を上げ、働くことへの充実感にも結び付きます。

本社は、日本人に加え、外国人（ポルトガル・フィリピン・中国）の従業員も多く、仕事をする上で文化・言語の違いからトラブルが生じることが時折あります。従業員同士の人間関係づくりは、働きやすい職場を築き、仕事の生産性を上げるうえでとても大切なことです。本研修を通じて仲間との良好な関係を築くための伝え方・関わり方を学び合いたいと考えています。

日 時：R7. 2. 3（月） 8時15分～9時15分

場 所：東和製作所内 東和会館（食堂） 参加者：社員 約100名（4ヶ国）



講 師：川原 聡 氏

岐阜県・可児市スクールカウンセラー
スーパーバイザー
臨床心理士・公認心理師

職場に活気をもたらすコミュニケーション

- * 良いコミュニケーションをするには…「通訳」が必要。コミュニケーションには、言葉の通訳と、心の通訳が必要。
- * 同じ言語を話したら全てわかり合えるわけではない。人はそれぞれ文化が違う。
- * 人づき合い＝国際交流＝コミュニケーション
- * 「認知」と「こだわり」
「認知」…物事の見方・とらえ方「こだわり」…何を重要視するか
- * 言葉も受け取り方で全然意味が違ってくる
- * 相手の受け取り方を考えずに、一方的に話すと…励ましたつもりが傷つけた。悪意はなかったのに怒らせた。冗談のつもりなのに本気にされた。…なんてことになることも。
- * 話を一部だけ切り取らない。
文脈…全体の流れを捉えないと、偏った判断をすることになる。
- * あなたの感覚、あなたの受け取り方は他の人と違う。勝手に思い込まないで、通訳しながら話す練習をしよう。
- * 国際交流…まずは説明から
自分の「文化」を説明する。相手の「文化」を聴く。全部理解できなくてもいい、「そうなんだ」！



* 「通訳」して付き合う

誰と比べなくてもいい、あなたは世界に唯一の文化を持った人。100%理解し合えないことに、がっかりしなくてもいい。分からなくても尊重することはできる。



<アンケートより>

- ・会社内でのコミュニケーションがとれる事で、仕事への士気が上がる。チームワークがとれているとストレスも減り、仕事の質もよくなり満足度も上がると思った。
- ・この時間を与えてくださり感謝。自尊心と帰属意識が高まり仕事に対するストレスが減ったように思う。違う分野の勉強ができた。
- ・自分の中の文化が当たり前だと考えず、人それぞれに文化があり、相手の感じ方や考え方を考えながらコミュニケーションに活かしていきたい。

本日の研修テーマと内容についてどう思いますか？

大変よい	よい	あまりよくない	よくない
34%	65%	1%	0%

企業で家庭教育研修を受講することについてどう思いますか？

ぜひ受けたい	受けてもよい	あまり受けたくない	必要ない
25%	46%	10%	19%

※企業内家庭教育研修は今後も継続されます。ご希望がありましたら遠慮なくお問い合わせください。
問い合わせ先 → 可茂県事務所 振興防災課 TEL0574-25-3111（内線208）